

(様式6-3)

研修等 報告書

令和 5年 8月 7日

三田市議会議長 松岡 信生様

私は、研修等報告書を下記のとおり提出します。

会 派 名	市民の会	代表者	
		議員名	檜田 充
参加者氏名	檜田 充		
講演会等研修名	地方議員研究会 国の動きと制度の基礎的解説講座 講師：甲南大学経済学部 教授 足立 泰美 氏		
研修事項	1, 地方財政の基礎「歳出」 2, 教育予算の基礎 3, 子どもの貧困問題の基礎		
日 時	令和5年8月3日(木曜日)～ 令和5年8月4日(金曜日)		
場 所	東京都千代田区有楽町1-12-1 新有楽町ビル2階		

<p style="text-align: center;">所 見</p>	<p>第1 講座「地方財政の予算編成（歳出）」</p> <p>地方財政計画の確認。給与関係経費・公債費・投資的経費・公営企業繰出金は削減。一方で、一般行政経費はデジタル化、地域社会再生、防災・減殺で増加となっている。歳出が歳入を上回って推移、歳出と歳入の差額が拡大。高齢化の進展で2025年に向け、医療・介護にかかる国庫負担の急増が懸念される。</p> <p>デジタル田園都市構想は地方で仕事を創り出す。地方創生交付金の活用でテレワーク環境整備と多様な暮らしを考える人間中心のコンパクトなまちづくりの推進。今後の懸念材料は公共施設等の老朽化対策、利用需要の変化に対応した公共施設マネジメントが必要となる。</p> <p>第2 講座「教育予算の基礎」</p> <p>教育予算の基礎となる人口推計について、中位で計画を作成しているが、コロナで実数とかけ離れている。学校における働き方改革と少人数によるきめ細かな指導体制の計画的な整備が求められる。教育のICT化による「学びの機動力」「学びの見える化」「学びの選択肢の増」が期待される。</p> <p>第3 講座「子どもの貧困問題の基礎」</p> <p>子ども家庭庁の創設、縦割り行政を打破し、現場を担う自治体の体制整備を含め、施策の精度を高め、優先順位をつけて実行することが求められる。</p> <p>全体として豊富な資料で多くの情報提供があった。国県との協力協働により市の施策遂行に期待する。</p>
<p style="text-align: center;">添付資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各講座の説明資料（抜粋）</li> <li>・</li> </ul>

6 添付書類（講演会内容のパフレット等）

交付対象議員は会派名、議員名を記入してください。（代表者名、参加者氏名は不要）